

みんなで作る永代供養の合同墓

後継者がいない人にも好評 消防署そば「海蔵院」

室町時代から続く寺として知られる戸塚町の「海蔵院」。同寺にある合同墓の「永代供養塔」が注目を集めている。

永代供養塔は、檀信徒と一緒に埋葬される合同墓で、寺が永代に渡り、供養

・管理するもの。墓地の後継者がいない人や、独身の人もすでに生前申込をしているという。

同寺では「ご縁のある方の墓所として、それぞれの方ができる範囲でご供養を続けていく気持ちを持って



永代合祀塔(手前)と永代納骨塔(右が共同塔、左が個別塔)

いただきたいと思っています」と語る。「ダイダイツナガルおはか」をキーワードに、永代供養塔を「ミンナノオハカ」と呼び、みんなで作る一つの墓所を守っていく」という方針だ。

遺骨を骨壺のままロッカー形式で区分けした場所に納骨する「個別塔」、共同の棚に安置する「共同塔」に、散骨形式で合祀埋葬する「合祀塔」の三塔で一つの墓所となる。

同寺では「見学希望の方はお問い合わせください。費用についての相談にも応じます」と話している。

■海蔵院(戸塚町4123、消防署そば、駐車場あり)
☎045・861・4411

タウンニュース(戸塚区版)に掲載致しました。

(平成19年2月15日)